

## 第8号



### <目次>

事務局長として	事務局長 田中 ゆり子 ( P 2 )
「増えても増えても困らないもの」	理 事 湯浅 智子 ( P 3 )
職場体験学習事前研修を担当して	深町 初江、加藤 恵子 ( P 4 )
親と子のビジネスマナー講座	田中 昌子 ( P 5 )
親子で学ぶ食事のマナーレッスン	吉村 景美 ( P 7 )
第3回賛助会員様インタビュー企画	
小中台幼稚園様	岸田 輝美、松尾 祐子 ( P 8 )
事業部活動報告	各事業部長 ( P 10 )
活動報告及び予定	事務局 ( P 11 )
賛助会員様紹介	事務局 ( P 12 )
運営体制、お問い合わせ	事務局 ( P 13 )

## 事務局長として

田中 ゆり子



当協会も設立して5年目（第5期）を迎えておりますが、多くの方々のご支援を得て、活動も少しずつ軌道に乗って参りました。

私は設立時より事務局長として任せて頂いておりますが、NPO法はもとより、公の機関に書類を提出する際の諸々などにつきましても、未経験なことばかりで試行錯誤して進めてまいりました。理事やスタッフの皆様が大いにサポートして下さっているおかげで今日が成り立っている次第です。心優しい方々に大変救われています。

当協会には心優しい人たちが多いのですが、それは岩下理事長のマナーは愛、マナーは思いやりの表現、思いやりとは人を大切にすることという訓育を受けた者の集まりであるからだと言えます。人も自分も気持ちよく楽にするための表現や心の持ち方をマナーという方法を通して教えていただいております、当協会もそれを伝えるためにあります。ですから、自らの損得より周囲への配慮を優先できる人たちがばかりが集まっています。

ところで、NPO（NonProfit Organization）と申しますと、ボランティア、非営利という言葉が先に立って、依頼先の方々からそのような見方をされることがありますが、所属するスタッフの皆さんはすべてがボランティアではありません。運営を円滑に進めるために必要な経費を多くの方々の支援や事業活動の中で生み出していく必要があります。

事務局としては、依頼先の方々との交渉の際にご理解を賜るよう努力して折衝しておりますが、必要な経費を得ることについては認めていただいていることを広く認知していただくには、まだまだ時間がかかりそうです。

現在、役員とスタッフ33名が、このマナー教育サポート号に乗船しております。手づくりの手こぎボートで大海原に出航したのが5年前、ボランタリー精神にあふれた仲間達が生懸命こいでいます。これからも、大波小波を受けながらやや右寄りになったり、左寄りになったりしながらも皆が安心して乗れるような少しでも大きな船に乗船出来るよう頑張りたいと思います。



しかし、出会いを楽しみつつ、設立趣旨に達することができますよう、これからも一層努力していきたいと思っております。目指すは思いやり溢れた日本です。

## 増えても増えても困らないもの!?

理事 湯浅 智子



さて、なーんだ!?

幼稚園で働いていた頃、『表現』という時間に園長先生が子ども達に投げかけた『なぞなぞ』です。 [ ]は私の心のつぶやき

「ブランコ!」 ブー! [順番を守って乗るから楽しいのよ]

「ちょきーん!」 ブー! [うわっ、しっかりしてるう]

「ちがう、なつやすみ!」 ブー! [先生は早くみんなに会いたいのになぁ]

「わかった! しわ?・・・わらったときの」[笑い皺ならいいか] 因みに彼はお祖母ちゃん子

『そう、答えてくれてありがとう。みんな大事ね。でももっと考えてみよう。ヒント、目には見えないものですよ。』皆さんは何だと思われませんか?

時が経って、当協会の発足会の日。会場に向かう電車の中、汗をいっぱいかいて乗り込んできた親子に出会いました。目の前に立った幼い女の子(当時四歳)の額にはたくさんの汗、張り付いた前髪が目に入りそうなものを見て、つい髪に手が伸びてしまい「あっ」と思ったのも束の間。身も知らずの私に、真っ直ぐな視線を向けたその子は、にっこり笑ってこう言ったのです。「お姉ちゃん、髪を分けてくれて、ありがとう」

単語ではなく、きちんとした文章で話せる子に出会って、あの時、なぞなぞの解答とともに園長先生から言われたことを思い出しました。

「子ども達は大人のマネが好き、特に大好きな人の真似は喜んでします。だからこの子どもの特性を生かし、大切だと思うことは丁寧に、何度でも、繰り返し伝えて欲しいのです。」彼女のお母さんは、ことばも豊かな人だったのでしょうか。

当協会の目的の一つに『子ども達が思いやりにあふれ、たくましく育つことができるような、そのための活動を行う』とあります。その思いを強くしたエピソードの日からもうすぐ五年。増えても増えても困らないもの・・・、それは「言葉」です。

単語の羅列。言葉にしなくても伝わることはあるけれど、ついつい省いてしまうからこそ、普段から置き換えられる言葉を捜さなきゃと思います。きっと心にぴったりの言葉があるはずですから。

以下は、今年2月に職場体験事前授業に行かせていただいた時の中学二年生の言葉です。

「『マナーとは相手に対する思いやりの心』、『礼儀とは相手に失礼のないように尽くすこと』と学ぶことができました。僕の好きなアーティストの歌に『未来のために今がある』という歌詞があります。まさに今、僕たちは自らの未来のために、今を歩んでいるんだと思います。そのために、今日教えていただいたことを積極的に実践します。」素敵な表現だと思いませんか?子どもの中にある芽は、育て方が間違っていなければ丈夫な根を張り立派な実がなる・と信じられるこの『言葉』に、この子ども達の未来はきっと明るい間違いない、という思いを強くしました。

# 職場体験学習事前研修を担当して

認定講師 深町 初江



1月24日に葛飾区立四ツ木中学校で講師デビューをさせていただきました、一期生の深町初江と申します。当日は2年生（2クラス約60名）と保護者お二人が出席されました。

12時30分にお伺いをすると、すぐに校長先生が出迎えてくださいました。堀切菖蒲園に近いこの学校の特徴は、何代にも亘って住んでいる方が多いため、都内には生徒が落ち着いていることです。体験学習先も、ショッピングモールや消防署、警察署、幼稚園等で毎年受け容れてくださり、ありがたい事だと校長先生はおっしゃっていました。

ちょうど私立高校の合格発表の日で、次々と生徒さん達が校長先生に「高校に合格しました」と嬉しそうに報告しておりました。このような優しい雰囲気、頑張る気持ちが強く湧いてきました。担当の先生の「5分や10分の時間は気にしないで、マナーをきちんと教えて下さい」とのお言葉が、時間配分を一番心配していた私の心の余裕となり、足取りも軽く音楽室に向かいました。

校長先生の講話からはじまり、第一印象を良くする為には笑顔で、と話して下さいました。事前をお願いしたように、先生方には生徒の中に入って座っていただき、又、特別学級の生徒と先生にも同じように並んでいただきました。きらきらした目が印象的でした。制服をきちんと着こなし、挙手や質問にもきちんと応えてくれました。教室にいる全員で、楽しんでマナーの勉強が出来ました。講師の気持ちが生徒にも伝わるのでしょうか？ニコニコ目のクラス別授業でも、先生から冗談が出るほど盛り上がり、保護者の方も参加されました。挨拶や言葉遣いは、事前に学習が済んでいて、言葉づかいのテストは確認だけを行いました。生徒たちが、毎年地域の方々から、快く受け入れていただける理由が分かりました。

当協会で学んだ「マナーは愛」このことを、今度は私たちが広める番と思い、講師の立候補をいたしました。正直当日の朝は心臓が「バクバク」し、「何で受けてしまったのだろう」と自分の浅はかさを悔やみ、身体がとても寒くなっていましたが、協会の心をお伝え出来た事、先生方や生徒、保護者の皆様に喜んでいただけたことが嬉しくて、加藤様と二人木枯らしが吹く中を、ぬくぬくした気持ちで、駅までの道を風に向かって歩き、「又来年も二人で伺いたいね」と充実した気持ちになりました。

そして、私が岩下理事長の講演を聞いて感動したように、私も感動してもらえるようなお話ができるようになりたい。そのために300回以上頑張ってみようかな、そう思いながら電車で揺られて帰りました。

「300回真似れば、本物になる」という言葉を信じて。

## 職場体験学習事前研修を担当して

認定講師 加藤 恵子

1月24日(木)深町さんと伺った四つ木中学校は、保護者や地域の方々の信頼も厚く、葛飾区の教育推進モデル校となっているところでした。

マナ - 研修に訪れた日は、ちょうど私立高校合格発表の時期だったので、校長室には何人も生徒が報告のため入れ替わり訪れて、先生は一人一人に温かい言葉を掛けていらっしゃいました。また、この学校は生徒会を中心として、伝統的に挨拶運動を展開している、ということでした。



当日の講義内容については、深町さんと打ち合わせを重ね、1コマ目の挨拶と自己紹介は、アシスタントの私が担当することになりました。少し不安もありましたが、挨拶の動きをしながら自分自身で説明をすることで、スム - ズに進めることができました。また、これにより生徒との間に話しやすい雰囲気が生まれたので、2コマ目の授業にも入りやすくなりました。

授業中の「印象の良い言葉づかいテスト」は、ほとんどの生徒が出来ていました。中には、こちらが期待している以上の敬語の使い方を知っている生徒もいて感心致しました。

「学校を卒業して社会人になるまでには、みんな最上級の敬語を話せるようになりましょうね。」と話しました。

職場体験の実習先は、地域の商店や幼稚園、消防署といった地元密着の所が大半なので、...です。...ます。の言葉づかいで良いから、相手を大切にすることを。

身だしなみを整え、挨拶と自己紹介がきちんとできれば相手も心を開いてくれる。と、1コマ目の復習を兼ねた授業もしました。素直に一生懸命話を聞いてくれる子ども達が可愛くて、5日間の職場体験がどうぞうまくいきますように。という、思いを込めて話を進めていきました。

授業終了後、再び校長先生にご挨拶に伺いました。校長先生は大変喜んでくださり、「また来年も是非！」との有り難いお言葉をいただきました。深町さんと私は、大成功に終わったことに感謝しつつ、寒さも忘れて家路に向かいました。

## 親と子のビジネスマナー講座

認定講師 田中 昌子

開催：2008年3月1日 NTTコムウェア様にて

講師：講師 岸田輝美、アシスタント 田中昌子

2008年3月1日にNTTコムウェア様にて開催された「NTTコムウェア オープンハウス」の中で、「親と子のビジネスマナー講座」にアシスタントとして参加いたしました。「オープンハウス」は、NTTコムウェア様の従業員のご家族を会社に招待し、日頃、どのような場所で働いているのか、どんな仕事をしているのかを家族に実際に見てもらおうという試みです。当日はたくさんの親子連れが訪れていました。



そんな和気あいあいとした雰囲気の中、オープンハウス会場の一角をお借りして「親と子のビジネスマナー講座」を30分ずつ、3回に分けて実施いたしました。1回の講座に約50名、3回で150名という大勢の方に参加していただきました。講座は、岸田さんの「マナーとは」という話から始まり、思いやりの行為についてのクイズを盛り込みながら進みました。今回は「ビジネスマナー」の講座ということでしたので、コートのきれいなたたみ方を、実際に参加者の皆さんと一緒にやってみました。子どもたちに別会場で作成してもらった名刺を使って、名刺交換も行いました。コートのたたみ方では、子どもたちが一生懸命きれいにたたもうと奮闘している姿がとても印象的でした。名刺交換の場面では、お父様、お母様が子どもたちに丁寧に教えていたので、講師の出番がないほどでした。最後は「ありがとうは魔法の言葉」という話で締めくくりました。会社では警備の人やお掃除のおばさんにも、感謝の気持ちをこめて「ありがとう」の言葉をかけ、家庭ではお茶をいれてもらったり、新聞を取ってもらったりしたら「ありがとう」と家族で言葉を掛け合うことによって、幸せな空間が生まれます。参加者の皆さんは、たくさんの「ありがとう」の言葉を会社でも家庭でも使っていていただいていることでしょう。

最初は小さい子どもたちに「ビジネスマナー」は難しいのではないかと思いました。しかし実際にやってみると、親子で取り組むことによって、子どもたちはお父様、お母様をお手本にして、少し早い社会人の体験ができ、お父様、お母様は、普段家庭では見せない、会社でのカッコいい姿を見せることができ、相乗効果が生まれたのではないのでしょうか。今後もぜひ、同じような取組みを継続していきたいと思いました。

【感想】メイン講師：岸田輝美

小学生以下の小さい子どもたちを対象にした講座を受け持つのは、初めてでした。子どもたちが、いい意味で背伸びをしてカッコよくコートのたたみ方や、名刺交換をしている姿が、とてもよかったです。また、そんな子どもたちの一生懸命な姿を、親御さんたちが嬉しそうに見守っていたことも印象に残りました。

# 親子で学ぶ食事のマナーレッスン

認定講師 吉村 景美

昨年、10月6日に旭化成ホームズ様主催にて「親子で学ぶ食事のマナーレッスン」を開催していただき、当日の講師を担当いたしました。アシスタントには深町さんが担当していただき、親子、祖父母とお孫さん、なかにはご夫婦でのご参加もありました。



講座の最初には、私ども協会の精神である「マナーは愛」について少しお話ししまして、具体的な食事のマナーに入っていました。

「いただきます」「ごちそうさま」はなぜ言うの？から始まり、配膳の仕方では皆様にA3用紙に配膳図を書いていただきました。

これがなかなか難しいものです。知っているつもりでも、魚皿や煮物の小鉢は右、左どちらに置くのかな？となります（手に持ってよい器＝小鉢は左側／手に持たない器＝大皿は右側）。これは結構、盛り上がりますので、食事のマナーを担当なさるときには、是非お話しになってはいかがでしょうか。それから、最近、箸置きを普通の食事ですることが少なくなつたとのことで、箸置きがどういうものなのか分からない子どもが増えてきていると耳にしたことがあります。皆様はいかがでしょうか？でも、割り箸の袋を使っての箸置き作りは、興味深いようで、保護者の方も一緒になって熱心に取り組んで頂きました。

食事のマナーのなかで、保護者の方も一番問題意識が高いのが、箸の持ち方です。6歳頃が指先の神経もよく発達しだすとのことから、箸の持ち方を正しくするのによい時期だとのことですが、会場にはまだ4歳くらいのお子様もいて、正しく持つのは結構大変な様子でした。恒例の豆移しゲームもしましたが、参加者の年代が同じ位でないとゲームとしては難しい面があるようにも思いました。ただ、本当に4歳のお嬢さんでしたが、最後まで一生懸命、豆移しをしてくれている姿に、私はただただ感動したのを覚えています。

最後には、実際に簡単な食材を用意して、箸やナイフ・フォークで食べていただけるようにしました。確かに食べるという楽しみはあるとは思いましたが、お菓子などを利用するほうがよいかもしいとも感じました。皆様のご様子やアンケートでは「楽しかった／また参加してみたい」など嬉しいお言葉をいただきました。いつかどこかで食事のマナーをするときには、色々工夫して講座に臨みたいと思います。この日は、深町さんの多大なサポート、また、旭化成ホームズの藤野様のコーディネートの下、無事講座を終えられましたこと心よりありがたく思いました。



## 第3回賛助会員様インタビュー企画

### 小中台幼稚園様

取材 岸田 輝美 / 松尾 祐子

私どもの活動主旨に賛同してくださっている賛助企業・団体様について、ご紹介させていただきます。今回は、小中台幼稚園の榎園長先生にお話を伺いました。

#### 当協会との出会い

平成16年2月、千葉市の「子育て支援教育」の一環として、保護者の方を対象に「人間関係をよくするために」をテーマとした講演を岩下理事長にお願いしました。

これは、当時の原園長の「保護者の方々の人間関係がうまくいくことが、子どもの教育にも繋がる」という考えによって実現したものです。平成17年3月には、教師を対象に「人とのかかわり方」をテーマに講演していただきました。その後もNPOの活動については、岸田さんからお話を伺っています。

#### 教育方針について

当園は、今年で32周年を迎えますが、その間、幼児期の特性をふまえ、子どもひとりひとりの発達段階と個性に応じ、『丈夫な身体』『豊かな心』『考え、つくり出す知恵』とが調和し、心身ともに健康な子どもの育成をめざして、全職員がこころをひとつにして真心をもって教育にあたることを方針としています。実は、私が園長を引き受けた一番の理由もこの教育方針にあります。



当幼稚園は、県内で初めて室内温水プール施設を備え、水泳指導を通して健康な身体づくりを目指しています。もうひとつ、食育という観点からお弁当持参をお願いし、園と家庭の協同により、子どもたちの健康への取り組みを大切にしてきました。

大規模な幼稚園（園児381名）ですが、子どもひとりひとりを大切にしていることに共感し、私もここで伝えていくことができるものがあると思いました。

「ひとりひとりの違いを教師が認識して育ちを支えていく」このことは、教師の子どもを見る高度な目が必要とされ、教師も子どもたちから教えられながら、日々成長しています。全職員が、子どもの成長を願いと共に支えるといった点で、NPOの活動と相通じる部分があると思っています。

#### 最近の子どもたちのマナーや躰について

子どもたちが、日々変わっていくことに驚く毎日です。あらためて、子どもの環境に順応する力が大きいことを実感しています。

先日もこんなことがありました。靴の履き替えを教えていたときのこと、自分の脱いだ靴の向きをさっと変えたお子さんがいました。ご家庭でも教えられているのだと、担任も感

激していました。やはりご家庭での躰が大切だと思います。

最近、おむつがとれないまま入園されるお子さんが多くなりました。トイレトレーニングは、おむつを卒業するための親子の大切なコミュニケーションで、自立へのスタートラインでもあります。できなかったことができるようになる。そのことをほめられることは、子どもにとって快感ですし、育つ力にもなります。保護者会でも、幼稚園で習ったことをぜひご家庭でも実践してほしいとお話しています。“心の成長とともにできるようになったことをほめてあげてください”また、園内では、年長さんが年中さんの面倒をみるなど、その年齢でできることを教えるといった縦のつながりも大切にしています。

### 子どもたちに期待すること

本来子どもは自然とともにあるべきもので、自然に対してしなやかな感性を育てるためにその興味の芽をふくらませてほしいと思っています。当幼稚園でも教師を含め、小動物、草花・虫など身近な自然に目を向けてほしいと考え、畑でさつまいもや落花生を作ったり、宇宙めだか（スペースシャトルで宇宙にいっためだかの子孫）やかぶと虫やアゲハチョウを飼ったりして、自然のサイクルを体験しています。本からの知識だけでなく、五感を働かせて自然を知っていることが大切なんです。レイチェル・カーソン（ ）は言っています。子どもたちが生まれ持っている“自然に対する畏敬の念”をなくさずに持ち続けてほ



しいと。そのためには、子どもと一緒に“スゴイ”“ふしぎ~”と声をあげ、共感できる大人がそばにいてほしいのです。が、一方でその子どもたちに豊かな自然を残していくために、私たち大人には課題があります。地球温暖化などの環境問題です。自然に影響を与えているのが人間ですから、子どもたちに環境問題をどう伝えてい

くか、難しい課題ですが取り組んでいかななくてはなりませんね。

（ ）レイチェル・カーソン：「センス・オブ・ワンダー」の著者

### 当協会に期待する活動やご意見など

毎回、とても大切なお話をきかせていただいています。人の価値観はいろいろですが、マナーは、人ととが円滑なコミュニケーションをとるために大切であって、相手に対する思いやりの気持ちがあればマナーはよくなると考えています。これからも、お話いただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

具体的なテーマがありましたら、ぜひご提案をお願いいたします。

### 所感

新入園児を迎えた4月のお忙しい中お話を伺いました。創設当時の教育方針を基に子どもたちを見つめ、保護者の方と連携をとりながら、全職員（23名）が一丸となって、一生懸命取り組まれています。榎園長先生は、とても穏やかな方ですが、心に熱いものを秘めていらっしゃる素敵なお方です。

## 事業部活動報告

### 【講師養成事業部】

部長 青木まき子

19年度『協会認定講師』資格取得試験を3月8日に実施致し、5名の方が協会認定講師の資格を取得されました。

島崎和子 村上智美 大藪昌代 大竹奈穂子 萩原美江子 \*敬称略



また、4月6日より第4期中級コースを開講致しました。  
今後は、10月の5期生募集に向けて準備を開始致します。  
お知り合いの方でマナーに関心のある方がいらっしゃいましたら  
是非お勧め下さい。今後ともご協力をお願い申し上げます。

### 【研修事業部】

部長 吉村 景美

第5期上期においては、実績に記載のとおり当協会としては昨年度よりも多くの講演・研修を務めさせていただきました。本当にありがたいことです。またこれら講演・研修のご依頼に伴い、確実に講師が育ち、よい循環をなしえていると喜びの気持ちで一杯です。このほか、研修事業部では中学校での職場体験学習研修マニュアル等の整備をいたしました。また、講師が安心して本番に望めるよう、2ヶ月に1回勉強会を開催しています。今後も着実にお客様のご要望に応えられるよう、他事業部と連携を図りながら、研修内容と講師の育成に努力してまいりたいと存じます。

### 【事業推進部】

部長 岸田 輝美

#### 職場体験事前学習のご案内

多くの中学校で「総合」の教科の時間に集団活動を通して心身の調和や、集団の一員としての自覚を深めることを目標に「キャリア教育」職場体験を行なっています。学校とは違う集団に入っていく不安を和らげてあげたい、社会のマナーから協力し合う気持ち、思いやりの態度に気づいて欲しいという提案のご案内を千葉市53の中学校にお送りしました。

## 【調査研究部】

部長 大徳はるみ

公共のマナーについて、主にインターネットで調べたり、あるいは、お店、施設等に向き観察をしたり、意見をお伺いする等して調査し、それを基に話し合いをして研究をしております。そして、その結果を出版する事を目指し活動を行っております。

# 活動報告及び予定について

## 活動結果報告（第5期上期）

### 子どもを対象にした講演

- |     |   |
|-----|---|
| 10月 | JFAアカデミー福島男子様（11月）<br>旭化成ホームズ様、千葉県柏市立柏第三中学校様<br>東京都足立区立清新第1中学校様、千葉県千葉市犢橋中学校様<br>神奈川県相模原市立共和小学校様 |
| 11月 | 千葉県柏市立南部中学校様<br>JFAアカデミー福島女子様（12月）  |
| 12月 | 旭化成ホームズ様（福岡）（名古屋）   |
| 1月  | 東京都葛飾区立桜道中学校様、東京都葛飾区立新小岩中学校様<br>東京都葛飾区立四ツ木中学校様、埼玉県三郷市立彦糸中学校様                                    |
| 2月  | 埼玉県三郷市立瑞穂中学校様、東京都港区青山小学校様   |

### おとなを対象にした講演

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 1月～3月 | 旭化成ホームズ様（合計3回）      |
| 1月～2月 | ドコモシステムズ株式会社様（合計6回） |
| 2月～3月 | ドコモ・サポート株式会社様（合計4回） |
| 3月    | 三晃商事株式会社様           |

### 親子を対象にした講演

- |    |                         |
|----|-------------------------|
| 2月 | NTTコムウェア株式会社様 「親子マナー講座」 |
|----|-------------------------|

### 講師養成講座

- |        |   |
|--------|---|
| 10月～1月 | 第4期生初級講座開講 全16講座  |
| 10月～3月 | 第3期生プロフェッショナル講座開講 全16講座   |
| 3月     | 特別講座「和食のマナー」(2回)<br>第3期生プロフェッショナル修了試験及び講師資格取得試験<br>第4期生初級修了試験<br>特別講座「発声法・スピーチ」 |

書籍出版：マナー協会サポート協会著

「これだけは子どもに教えたい！大切なマナーのすべて」が  
10月30日にメイツ出版から発売されました。



## 活動予定 (第5期下期)

- 4月 第2稲毛ハイツ自治会様  
5月 千葉県千葉市立草野中学校様  
花天の会「青葉のつどい」  
6月 特別養護老人ホームシャローム横浜様  
7月 旭化成ホームズ様、市村財団様  
8月 東京都葛飾区小松中学校様

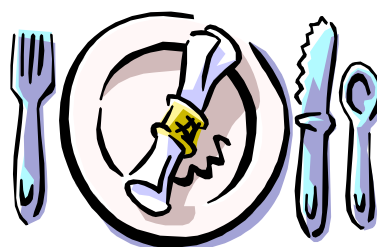
上記のほか、多数ご依頼をいただいております。

### 協会主催イベント

- 7月27日(日)第4回夏休み親子のテーブルマナー  
12時～14時 ホテルサンルートプラザ東京(舞浜)  
参加費：親子1組10,000円  
子ども1人追加ごとに4,000円



親と子のテーブルマナー  
へのご参加をお待ちして  
います。



## 賛助協賛企業・団体様

五十音順

株式会社アスク 様	( <a href="http://www.ask-gp.co.jp/">http://www.ask-gp.co.jp/</a> )
NTTコムウェア株式会社 様	( <a href="http://www.nttcom.co.jp/">http://www.nttcom.co.jp/</a> )
株式会社NTTデータ 様	( <a href="http://www.nttdata.co.jp/">http://www.nttdata.co.jp/</a> )
キックマン株式会社 様	( <a href="http://www.kikkoman.co.jp/">http://www.kikkoman.co.jp/</a> )
株式会社協和エクシオ 様	( <a href="http://www.exeo.co.jp/">http://www.exeo.co.jp/</a> )
有限会社グローバルシティ 様	( <a href="http://www.globalcity.co.jp/">http://www.globalcity.co.jp/</a> )
株式会社ケーズワイスports 様	
興南プレス工業株式会社 様	
コムシスホールディングス株式会社 様	( <a href="http://www.comsys-hd.co.jp/">http://www.comsys-hd.co.jp/</a> )
三晃商事株式会社 様	( <a href="http://www.sankoh-group.com/">http://www.sankoh-group.com/</a> )
サンルートプラザ東京 様	( <a href="http://www.sunroute-plaza-tokyo.co.jp/">http://www.sunroute-plaza-tokyo.co.jp/</a> )
株式会社スリーライト 様	( <a href="http://www.threelight.co.jp/">http://www.threelight.co.jp/</a> )
学校法人誠真学園小中台幼稚園 様	( <a href="http://www.ans.co.jp/k/konakadai/">http://www.ans.co.jp/k/konakadai/</a> )
大明株式会社 様	( <a href="http://www.daimei.co.jp/">http://www.daimei.co.jp/</a> )
播磨機工株式会社様	( <a href="http://www.sankoh-group.com/">http://www.sankoh-group.com/</a> )
株式会社万葉軒 様	( <a href="http://www.manyouken.co.jp/">http://www.manyouken.co.jp/</a> )
株式会社リコー様	( <a href="http://www.ricoh.co.jp/">http://www.ricoh.co.jp/</a> )
レストランおまかせ亭 様	( <a href="http://www.omakasety.com/">http://www.omakasety.com/</a> )

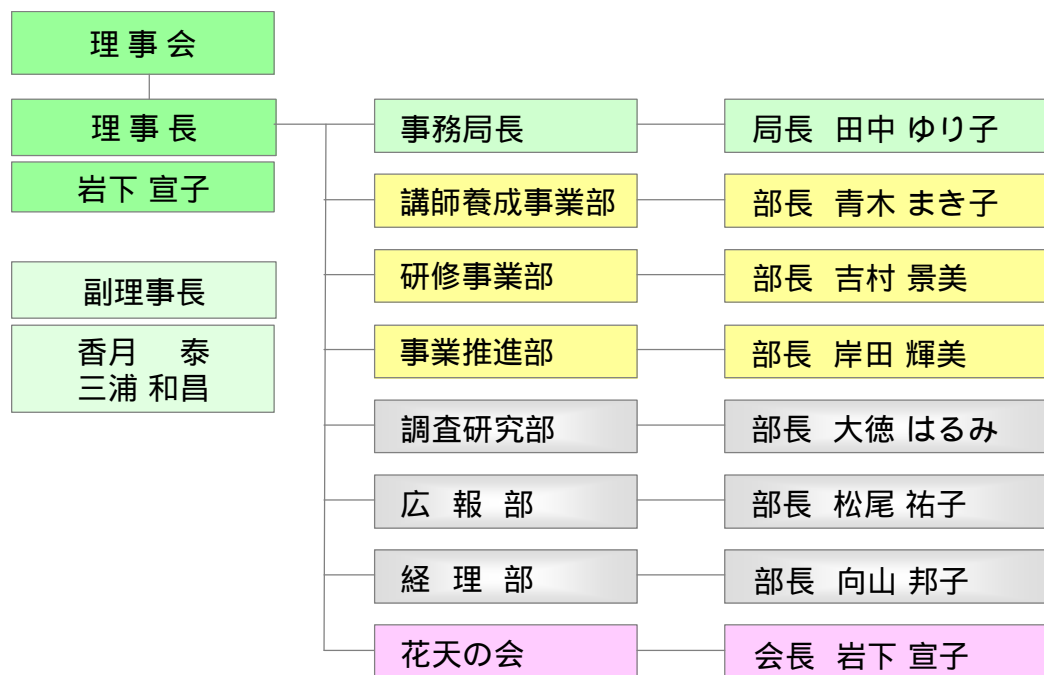
～個人会員の皆様へ～

次回の会報誌発行から、応援してくださっている皆様のお名前を掲載させて  
いただきたく、ご了承いただけますようお願いいたします。

## 運営体制

第5期の運営体制は以下のとおりです。

各部における運営に関するお問合せは事務局長又は各部長までお願いします。



花天の会は認定講師の会でございます

## 会員募集のご案内

会員は、活動主旨に賛同し支援して下さる個人会員または法人会員の皆さんです。

年会費 個人 5,000円 法人 1口 10,000円より

私たちの活動のために是非ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## お問合せ



特定非営利活動法人 マナー教育サポート協会

認証番号：15 生都協市特第 1585 号（平成 15 年 11 月 5 日東京都）

所在地：東京都千代田区九段北 1 - 9 - 5 朝日九段マンション 704 号

（御用の際は必ずご予約をお願いします。）

電話 & FAX：03 - 3239 - 0229

メール：e-manners@eagle.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.e-manners.org

2008年5月26日発行（年2回：5月&10月発行予定）発行・編集・制作＝特定非営利活動法人マナー教育サポート協会

広報部 / Copyright © 2008 NPO Manners Support Association. All rights reserved.

イラストの一部は、フリーの素材の人物イラスト屋さん（http://free-illustration.com/index.html）より使用しています。